



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 株式会社 長府製作所
 コード番号 5946 URL <https://www.chofu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 種田 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(総務担当) (氏名) 江川 芳明

TEL 083-248-2777

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

2020年8月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	19,723	2.9	459	24.6	1,266	9.6	747	
2019年12月期第2四半期	20,315	2.3	368	54.8	1,155	0.5	59	

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 684百万円 (%) 2019年12月期第2四半期 362百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	21.51	
2019年12月期第2四半期	1.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	133,103	123,676	92.9
2019年12月期	135,354	124,916	92.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 123,676百万円 2019年12月期 124,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		16.00		16.00	32.00
2020年12月期		16.00			
2020年12月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	0.6	2,500	6.6	4,100	5.0	2,900	57.9	83.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	35,980,500 株	2019年12月期	35,980,500 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,241,038 株	2019年12月期	1,241,038 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	34,739,462 株	2019年12月期2Q	34,739,662 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響による消費の伸び悩みに加え、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響によって経済活動が大きく減速し、景気は極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループの商品需要とも関係の深い建築業界におきましては、新設住宅着工戸数は弱含みで推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり厳しい市場環境となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、IoT技術を活用した、屋外にいても自宅の給湯機器、空調機器を遠隔操作できる「おうち快適アプリ」のサービスを開始し、お客様がより便利で快適にご使用いただける製品の普及拡大を目指してまいりました。

研究開発部門では、無線LAN機能を搭載したカラー液晶タッチパネルリモコンを開発し、お客様の視認性や操作性だけでなく、「おうち快適アプリ」を利用することで利便性を向上させ、スマートフォン等の機器で遠隔操作できたり、離れて暮らす家族が使用する機器の利用状況を確認したりすることも可能にするなど、CHOFUのIoTシステムに対応した製品の研究開発を行ってまいりました。

一方、生産・購買部門におきましては、作業工程等の見直しを行い、部材調達の効率化を図ってコストダウンの徹底に努めるなど、グループを挙げて品質と生産性の向上、原価低減に積極的に取り組んでまいりました。

売上高を製品別に見ますと、給湯機器につきましては、好調なエコキュートがその他の給湯機器の需要減少を補い、全体で88億39百万円（前年同期比1.5%増）となりました。空調機器につきましては、輸出は売上を伸ばしましたが、暖冬の影響を受けて暖房機の販売が減少し、全体で78億60百万円（同3.6%減）となりました。システム機器につきましては、システムバスの販売が振るわず、全体で7億79百万円（同12.6%減）となりました。ソーラー機器・その他につきましては、エコワイターやその他関連部品の売上が減少し、全体で11億86百万円（同17.0%減）となりました。エンジニアリング部門につきましては、10億59百万円（同6.6%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は197億23百万円（同2.9%減）となりました。利益面につきましては、グループを挙げてのコスト削減活動に注力した結果、営業利益は4億59百万円（同24.6%増）、経常利益は12億66百万円（同9.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損を計上したことにより7億47百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円）となりました。

品目別売上高の状況

	当四半期（2020年12月期第2四半期）		
	金額（百万円）	構成比（%）	前年同四半期比（%）
給湯機器	8,839	44.8	1.5
空調機器	7,860	39.9	△3.6
システム機器	779	4.0	△12.6
ソーラー機器・その他	1,186	5.9	△17.0
エンジニアリング部門	1,059	5.4	△6.6
合計	19,723	100.0	△2.9

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億50百万円減少し、1,331億3百万円となりました。主な増減としましては、受取手形及び売掛金が38億59百万円、有価証券が12億3百万円減少し、投資有価証券が12億14百万円、現金及び預金が6億20百万円、商品及び製品が6億18百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億10百万円減少し、94億27百万円となりました。主な増減としましては、支払手形及び買掛金が15億24百万円、繰延税金負債が5億10百万円減少し、賞与引当金が9億32百万円増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億40百万円減少し、1,236億76百万円となりました。主な増減としましては、その他有価証券評価差額金が14億51百万円減少しました。その結果、自己資本比率は92.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億65百万円増加し、39億24百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は36億36百万円（前年同期比8.7%減）となりました。これは主として、引当金の増加や売上債権の減少などによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は20億54百万円（前年同期比191.2%増）となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は5億90百万円（前年同期比0.9%増）となりました。これは主として、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想（2020年2月7日発表）からの変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。現時点で今後の動向を見通すことは困難であるため、業績予想においてはこれによる影響を見込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,817	4,438
受取手形及び売掛金	9,236	5,376
有価証券	8,551	7,347
商品及び製品	4,515	5,133
仕掛品	597	533
原材料及び貯蔵品	1,483	1,417
その他	319	421
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	28,514	24,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,623	6,563
機械装置及び運搬具(純額)	2,353	2,215
土地	14,429	14,499
建設仮勘定	14	0
その他(純額)	296	302
有形固定資産合計	23,718	23,580
無形固定資産	127	162
投資その他の資産		
投資有価証券	82,072	83,287
長期貸付金	316	324
繰延税金資産	223	706
その他	381	379
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	82,994	84,698
固定資産合計	106,839	108,441
資産合計	135,354	133,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	3,363
短期借入金	60	60
未払法人税等	676	839
賞与引当金	220	1,152
製品補償損失引当金	118	100
未払金	776	845
未払費用	87	195
預り金	1,070	856
その他	425	276
流動負債合計	8,322	7,689
固定負債		
長期借入金	90	55
繰延税金負債	510	-
退職給付に係る負債	1,069	1,232
その他	445	449
固定負債合計	2,115	1,737
負債合計	10,437	9,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	3,568	3,568
利益剰余金	114,467	114,658
自己株式	△2,607	△2,607
株主資本合計	122,427	122,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,649	1,198
退職給付に係る調整累計額	△160	△141
その他の包括利益累計額合計	2,488	1,057
純資産合計	124,916	123,676
負債純資産合計	135,354	133,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	20,315	19,723
売上原価	15,417	14,858
売上総利益	4,897	4,865
販売費及び一般管理費	4,529	4,406
営業利益	368	459
営業外収益		
受取利息	390	379
受取配当金	177	166
不動産賃貸料	298	299
売電収入	308	304
その他	91	56
営業外収益合計	1,265	1,207
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	104	101
不動産賃貸費用	147	136
為替差損	95	48
売電費用	118	107
その他	8	2
営業外費用合計	478	399
経常利益	1,155	1,266
特別利益		
固定資産売却益	35	0
投資有価証券売却益	-	55
特別利益合計	35	55
特別損失		
固定資産処分損	0	2
投資有価証券売却損	-	49
投資有価証券評価損	911	170
特別損失合計	911	223
税金等調整前四半期純利益	279	1,098
法人税、住民税及び事業税	824	830
法人税等調整額	△485	△478
法人税等合計	339	351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59	747
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	747

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59	747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△377	△1,451
退職給付に係る調整額	75	19
その他の包括利益合計	△302	△1,431
四半期包括利益	△362	△684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362	△684

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	279	1,098
減価償却費	623	618
賞与引当金の増減額 (△は減少)	948	932
製品補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	162	163
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△33	△31
受取利息及び受取配当金	△567	△546
支払利息	3	3
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	911	170
為替差損益 (△は益)	95	48
固定資産処分損益 (△は益)	△35	2
売上債権の増減額 (△は増加)	3,821	3,859
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△796	△488
仕入債務の増減額 (△は減少)	△923	△1,524
預り金の増減額 (△は減少)	△185	△214
その他	△382	△338
小計	3,921	3,729
利息及び配当金の受取額	609	581
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△544	△670
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,982	3,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	-
定期預金の払戻による収入	550	500
有価証券の売却及び償還による収入	3,531	1,953
有形及び無形固定資産の取得による支出	△289	△511
有形固定資産の売却による収入	65	0
投資有価証券の取得による支出	△4,884	△4,600
投資有価証券の売却及び償還による収入	419	612
貸付けによる支出	△32	△28
貸付金の回収による収入	34	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△705	△2,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30	△35
配当金の支払額	△555	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585	△590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,685	965
現金及び現金同等物の期首残高	3,063	2,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,749	3,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

当社グループは住宅関連機器の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

当社グループは住宅関連機器の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。